

第2回横幹連合総合シンポジウム

歓迎のごあいさつ

昨秋の横幹連合京都コンファレンスでは、「コトつくりによるイノベーションの推進」を求めた京都宣言が採択されました。横幹連合の社会的使命とは、この宣言の精神をどのように具体化するのかわからないかと考えます。

第2回総合シンポジウムは、この京都宣言の精神を継承し、横幹連合会員学会が様々な方々と連携し、社会に対してどのような価値を提供しているのか、あるいは、しうるのかということについて、「モノづくり」、「安心」、「人への優しさ」、「見える化」、「人材育成」などの大きなテーマを選び2日間議論します。幸い企画に当たった7学会の真摯な努力の結果、学会独自活動の枠を超えた横幹連合で無ければできない有機的セッション構成が実現できたものと自負しています。

シンポジウム会場となる筑波大学東京キャンパスは、かつて朝永振一郎先生が過ごされた時代のままの古い建物ですが、先生が好まれた自由な討論の場が提供できればと思っています。ぜひ、多くの方々が師走初頭の茗荷谷に参集し、ホットな2日間を堪能してください。実行委員会を代表してお願い申し上げます。

横幹の師 走ってなす コトつくり

第2回横幹連合総合シンポジウム 実行委員長
椿 広計(統計数理研究所/筑波大学)

第2日目(12月5日(木))のプログラム

9:00	(A-1) リスク研究ネットワーク企画 「定量的リスク科学を目指して」 オーガナイザ: 椿 広計 (統計数理研究所)	(B-1) ヒューマンインタフェース学会企画 「ユニバーサルコミュニケーション」 オーガナイザ: 長嶋 祐二(工学院大学) 中園 薫(NTT 未来ねっと研究所)	(C-1) 日本シミュレーション学会企画 「観る・眺める・そして考えるー高付加価値を生み出すシミュレーション技術ー」 オーガナイザ: 小山田耕二(京都大学)
11:30	休憩		
12:30	(A-2) 日本リスク研究学会企画 「リスク概念に基づくアプローチを阻害するのは何か」 オーガナイザ: 中谷内一也 (帝塚山大学)	(B-2) 横幹連合「医薬品インタフェース」調査研究会企画 「医薬品インタフェース」 オーガナイザ: 大倉典子 (芝浦工業大学)	(C-2) 日本生物工学会企画 「観る・眺める・そして考えるー高付加価値を生み出す生命現象観測技術ー」 オーガナイザ: 竹山春子 (早稲田大学)
14:30	休憩		
15:00	(A-3) パネル討論 「横断型科学技術としてのリスク・安全研究の進むべき方向」 オーガナイザ: 古田一雄 (東京大学)	(B-3) 計測自動制御学会企画 「ウェルネス科学ー生命・医療・健康・福祉に対する横断的アプローチ」 オーガナイザ: 福岡 豊 (東京医科歯科大学)	(C-3) 日本リモートセンシング学会企画 「観る・眺める・そして考えるー高付加価値を生み出す観測技術ー」 オーガナイザ: 笠 博義 (ハザマ)
17:00			

※プログラムの詳細は、ホームページ(<http://www.trafst.jp/symposium2008/>)をご覧ください。